

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東横小学校・中学校	階数	地上2F
建設地	京都府綾部市鷹栖町小丸山25番地	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,100時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2015年7月9日
敷地面積	8,158 m ²	作成者	共同設計株式会社
建築面積	2,348 m ²	確認日	2014年7月9日
延床面積	2,023 m ²	確認者	共同設計株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30% ☆☆☆☆☆ 50% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超 ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 94% ③上記+②以外の 94% ④上記+ 94%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建築物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.7</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>教室を南東側に開放することで自然光を取り入れた明るい教室を計画する。さらにそれらをつなぐ明快な動線とシンプルな形態によって、児童・生徒や職員にとって快適な空間とし、メンテナンスも容易な建築としている。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>教室・廊下について複層ガラスを使用し、断熱性能を高めることで、地域環境に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>教育内容の変化や開取りの変更に対応するため、内部は乾式間仕切りとしている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>既存校舎や体育館となじむように建物高さに配慮し、2階建てとしている。また、周囲の樹木をなるべく残し、緑に囲まれた学校空間を形成している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明にはLEDを使用し、メンテナンスを容易にしている。また、複層ガラスや外壁断熱材による断熱効果とバルコニーや庇による日射遮蔽効果により、建物全体のエネルギー効率に配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>使用材料はF☆☆☆☆または規制対象外の建材としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地外への排水について、周辺への影響が出ないような経路としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される